

講演会

ふしぎの描き方

あまんきみこ&富安陽子の世界

あまんきみこと富安陽子は、日本を代表する児童文学作家です。二人には、「ふしぎ」を描くという共通点がありますが、その手法は大きく異なります。本講演会は、あまんきみこのデビュー作『車のいろは空のいろ』出版50年を記念し、あまんきみこ作品の魅力に迫るとともに、あまんの次世代の作家として独自の世界を切り拓いてきた富安作品の魅力を探り、ひいては日本の子どもの本について考えます。

講演1

あまんきみこにとっての「ふしぎ」

講師：あまんきみこさん(児童文学作家)
聞き手：土居安子(当財団総括専門員)

講演2

富安陽子にとっての「ふしぎ」

講師：富安陽子さん(児童文学作家)

鼎談

ふしぎの描き方

講師：あまんきみこさん、富安陽子さん、
宮川健郎(当財団理事長)

平成30年 **11月10日[土]** 13:45-16:15

大阪府立中央図書館 2階大会議室

東大阪市荒本北1-2-1 近鉄けいはんな線荒本駅(地下鉄中央線)北西400m

対象／子どもの本に関心のある方ならどなたでも 申込方法／HP、電話、ファックス

定員／80名(申込先着順) 参加費／一人1,000円

後援／大阪府立中央図書館 助成／子どもゆめ基金助成活動

主催・問合せ



一般財団法人
大阪国際児童文学振興財団
International Institute for Children's Literature, Osaka

〒577-0011 大阪府東大阪市荒本北1-2-1 大阪府立中央図書館内

TEL.06-6744-0581 FAX.06-6744-0582

<http://www.iiclo.or.jp/> E-mail:office@iiclo.or.jp

同時開催

展示

ふしぎの描き方

—あまんきみこ&富安陽子の世界—

11/9(金)~12/28(金)

主催・会場

大阪府立中央図書館
(休館日あり)

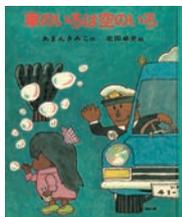
富安陽子さん



あまんきみこさん

講師 **あまんきみこさん** 児童文学作家 (写真右)

1931年旧満州に生まれる。坪田譲治主宰の童話雑誌「びわの実学校」への投稿を経て、1968年『車のいろは空のいろ』(ポプラ社)で第1回日本児童文学者協会新人賞、第6回野間児童文芸推奨作品賞を受賞。1981年『こがねの舟』(ポプラ社)で旺文社児童文学賞、1983年『ちいちゃんのかげおくり』(あかね書房)で小学館文学賞、1986年『ぼんぼん山の月』(文研出版)で絵本にっぽん賞、2004年『きつねのかみさま』(ポプラ社)で日本絵本賞などを受賞。2001年には紫綬褒章、2016年には第51回 東燃ゼネラル児童文化賞を受賞している。



『車のいろは空のいろ』
あまんきみこ/著 北田卓史/絵
ポプラ社 1968年

講師 **富安陽子さん** 児童文学作家 (写真左)

1959年東京都に生まれる。1991年『クヌギ林のザワザワ荘』で日本児童文学者協会賞新人賞、小学館文学賞、1997年『小さなスズナ姫』シリーズで新美南吉児童文学賞、2001年『空へつづく神話』でサンケイ児童出版文化賞、2002年に『やまんばん山のモッコたち』でI B B Yオナーリスト、2011年『盆まねき』で野間児童文芸賞を受賞。「ムジナ探偵局」シリーズ(童心社)、「シノダ!」シリーズ(偕成社)、「内科・オバケ科 ホオスキ医院」シリーズ(ポプラ社)、「やまんばんあさん」シリーズ「妖怪一家九十九さん」シリーズ(理論社)など、著作多数。



『小さな山神スズナ姫』
富安陽子/作 飯野和好/絵
偕成社 1996年